

第2期 御前崎市まち・ひと・しごと創生総合戦略全体像(概要)

御前崎市人口ビジョン

長期見通し  
(2060年)

**【現状】**  
自然減・社会減  
合計特殊出生率 1.72

**【本市人口の見通し】**  
10年後(2030年) 2万6000人  
25年後(2045年) 1万9000人  
(国立社会保障・人口問題研究所推計)

施策の実施により

2025年 社会移動均衡  
2035年 合計特殊出生率  
2.07 を達成

**【目指すべき姿】**

15年後(2035年)時点  
3万人 を確保  
(2060年2万5800人)

将来都市像  
(2025年)

子どもたちの  
夢と希望があふれるまち  
御前崎

御前崎市総合戦略『令和2年度(2020年度)～令和6年度(2024年度)』

成果指標  
(2024年)

・御前崎市人口  
31,275人

・交流・関係人口  
2,733,000人

・移住者数  
2,500人/累計

・御前崎市に引き続きたいと思う人の割合  
80.0%

戦略体系	施策体系	事業体系	活動指標
<b>戦略1</b> 『活力』ある仕事・人材づくり 安定した雇用を維持・創出するとともに、新たな人材育成・支援体制を整える	(1) 商工業の振興と企業誘致	① 地域の優位性を活かした企業誘致の推進 ② 市内企業の事業継続に向けた支援	・新規立地企業件数 ・企業研修受入件数 ・セミナー参加事業所数
	(2) 農林水産業の振興と人材育成	① 農業の担い手育成支援 ② 水産業の担い手育成支援	・新規就農研修受入農家数 ・新規就農研修受入研修生数 ・水産業体験・研修受入人数
	(3) 地域で活躍する人材の教育(小・中学校)	① 地域教材を扱った授業、行事の推進 ② 郷土を愛し未来を創る御前崎人の育成支援	・小・中学校での地域教材を扱った授業にかかわる地域人材数 ・地域行事へ参加している生徒児童の割合 ・静岡県青少年指導者級別認定者数
<b>戦略2</b> 『魅力』ある発信・交流づくり 市の魅力を十分に発信し、交流人口・関係人口の創出を図り、新たなひとの流れをつくる	(1) 市の情報発信の強化	① 戦略的なパブリシティ広報の推進 ② 新たな情報発信サービスの確立	・新聞(地元紙)への掲載記事数 ・ホームページの閲覧件数 ・新たな情報発信体制の整備(※1)
	(2) 観光、スポーツ、食による交流・関係人口の拡大	① 御前崎港周辺の賑わい創出 ② スポーツ交流人口の拡大 ③ 御前崎ブランドの推進	・岬の観光入込客数 ・スポーツ交流人口 ・市内宿泊者数 ・御前崎ブランド認定数 ・御前崎ブランド取扱(提供)店舗数
<b>戦略3</b> 『希望』ある子育て・活躍の場づくり 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえ、誰もが活躍できる地域社会をつくる	(1) 少子化対策と子育て環境の充実	① 情報発信の強化と相談体制の充実 ② 地域一体となった子育て応援	・情報発信アプリ登録者数 ・情報発信回数 ・一時預かり所の制度構築と試行(※1)
	(2) 誰もが活躍する地域社会の実現	① 新たな活躍の場の創出 ② 多文化共生社会の実現	・シルバー、ボランティア等育成人数 ・地域ニーズ等とのマッチング人数 ・多文化支援制度の構築(※1)
<b>戦略4</b> 『安心』ある地域づくり 時代にあった地域と安心な暮らしをつくり、地域・企業・団体と連携する	(1) 食を通じた健康まちづくりの推進	① 健康レシピの開発・普及 ② 官民連携による健康レシピの推進	・レシピコンテスト開催 ・レシピ本の作成・配布 ・レシピ活用事業所数
	(2) スマート自治体の実現	① AI・ICT等の導入・活用による市民サービスの向上 ② 庁内サーバのクラウド化への推進	・情報化推進計画の策定(※1) ・庁内サーバのクラウド移行率
	(3) 高校・大学等との連携によるまちづくりの推進	① 高校生、大学生等によるまちづくりの推進 ② 県外在住の大学生等との交流	・まちづくり連携学校数 ・交流会参加者数
	(4) 津波に強い地域づくりの推進	① 地域の特性にあわせた津波避難訓練への参加促進 ② 多言語による防災・避難情報の発信	・津波避難訓練参加者数 ・多言語防災発信体制の整備(※1)
	(5) 利便性の高いモビリティサービスの実現	① 持続可能な地域公共交通ネットワークの構築 ② 新たなモビリティサービスの実現	・新たな公共交通形態の構築(※1) ・実証実験の実施

※1: 目標達成後に指標再設定